

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場会社名 鉦研工業株式会社
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 末永 幸紘
 (氏名) 大谷 幸彦

TEL 03-6907-7888

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,430	31.1	290	—	285	—	235	—
25年3月期第2四半期	2,616	29.3	△77	—	△113	—	△119	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 233百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △120百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	26.32	—
25年3月期第2四半期	△13.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,345	1,665	26.2
25年3月期	6,093	1,371	22.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,665百万円 25年3月期 1,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	23.2	280	—	240	—	160	—	17.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	8,970,111 株	25年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,054 株	25年3月期	3,029 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	8,967,075 株	25年3月期2Q	8,967,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や消費者マインドの改善を受けた個人消費の拡大、景気対策関連の公共投資の増勢に支えられ、景気は持ち直しの動きから緩やかに回復する展開となりました。

こうした中、当社グループでは、本年4月より開始した「2013新中期経営計画」に基づき、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標として、機械本体および部品・商品の売上拡大、研究開発の強化・新製品の開発、海外新興国市場の攻略、バリュー・エンジニアリング手法を活用した原価低減、新たな工事得意工種の確立を図ることにより、売上高を伸ばすとともに損益分岐点を引き下げるべく注力しております。

当第2四半期連結累計期間は、建設投資の増加を背景として国内販売受注は増加しましたが、海外販売受注が減少したことから、ボーリング機器関連の受注は前年同四半期比横ばいに留まり、工事施工関連の受注は国内受注、海外受注ともに前年同四半期に比べ減少したことから、受注高は前年同四半期比8.1%減の2,605百万円となりました。

売上高につきましては、ボーリング機器関連は国内販売の増加に加え海外販売における大型O D A案件の売上計上が寄与し、前年同四半期に比べ46.6%増加し2,168百万円となり、工事施工関連も海外工事は減少したものの、国内工事の増加により、前年同四半期に比べ11.0%増加し1,262百万円となったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比31.1%増の3,430百万円となりました。また、地域別の売上高は、国内売上高はボーリング機器関連、工事施工関連ともに増加し、前年同四半期比29.1%増の2,779百万円となり、海外売上高は工事施工関連が減少したものの、ボーリング機器関連の売上が増加したことから、前年同四半期比40.7%増の651百万円となりました。

売上高の増加に加え、原価低減努力が奏功し原価率が前年同四半期に比べ5.4ポイント低下したことから、営業利益は290百万円（前年同四半期は77百万円の営業損失）、経常利益は285百万円（前年同四半期は113百万円の経常損失）、四半期純利益は235百万円（前年同四半期は119百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(ボーリング機器関連)

当セグメントにおきましては、海外受注はO D A案件の受注はあったものの、その他は中国を始めとして全般的に低調に推移し、前年同四半期に大型のO D A案件を受注した反動減もあり前年同四半期に比べ減少しましたが、国内受注が建設投資増加を背景とした更新需要や震災復興・防災需要を受けて伸びたことから、当第2四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比0.5%増の1,907百万円となりました。売上高につきましては、国内販売の増加に加え、前連結会計年度に受注した大型O D A案件の売上計上もあり、前年同四半期比46.6%増の2,168百万円となりました。また、原価低減の取り組みが奏功し原価率が低下したこともあり、セグメント利益(営業利益)は145百万円(前年同四半期は140百万円のセグメント損失)となりました。

(工事施工関連)

当セグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間は大型工事案件の受注がなく、前年同四半期に比べ国内受注、海外受注ともに減少し、受注高は前年同四半期比25.5%減の697百万円となりました。売上高につきましては、海外工事はO D A案件の工事終了により減少しましたが、国内工事が既受注案件の工事進捗により増加したことから、前年同四半期比11.0%増の1,262百万円となりました。売上高の増加に加え原価率が低下したことから、セグメント利益(営業利益)は前年同四半期比126.9%増の143百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して251百万円増加し、6,345百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が87百万円、原材料及び貯蔵品が43百万円、仕掛品が25百万円減少しましたが、現金及び預金が321百万円、受取手形及び売掛金が167百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して312百万円増加し、4,666百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び工具器具備品などで8百万円の設備投資を行いました。69百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して60百万円減少し、1,678百万円となりました。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して41百万円減少し、4,679百万円となりました。

流動負債は、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が64百万円、1年内償還予定の社債が25百万円、未払費用が支払い等により47百万円減少しましたが、未成工事受入金が150百万円、支払手形及び買掛金が104百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して147百万円増加し、3,302百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の約定弁済等による減少94百万円などにより、前連結会計年度末と比較して189百万円減少し、1,377百万円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より「退職給付に関する会計基準」の改正の早期適用に伴い「退職給付引当金」は「退職給付に係る負債」の科目で表示しております。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益235百万円を計上したことから、1,665百万円となり、自己資本比率は26.2%となりました。なお、第1四半期連結会計期間の期首において、「退職給付に関する会計基準」の改正の早期適用に伴い当第2四半期連結会計期間の期首利益剰余金は81百万円増加し、その他包括利益累計額(退職給付に係る調整累計額)が24百万円減少しております。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ253百万円増加し622百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、508百万円の収入(前年同四半期は217百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上289百万円、たな卸資産の減少153百万円、未成工事受入金の増加150百万円、仕入債務の増加89百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加175百万円、未払費用の減少47百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、63百万円の支出(前年同四半期は59百万円の支出)となりました。収入の主な内訳は、有形及び無形固定資産の売却による収入8百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出69百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、191百万円の支出(前年同四半期は135百万円の収入)となりました。長期借入金は、80百万円の調達を行う一方、約定弁済により229百万円を返済し、社債は25百万円を償還いたしました。短期借入金は257百万円の調達に対し、266百万円を返済し、ファイナンス・リース債務は7百万円を返済いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年4月22日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成25年10月28日公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ及び業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(連結業績予想)

売上高	6,400	百万円	(前期比 23.2%増)
営業利益	280	百万円	(前期比 -)
経常利益	240	百万円	(前期比 -)
当期純利益	160	百万円	(前期比 -)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日)が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首のその他の包括利益累計額が21,692千円減少し、利益剰余金が81,889千円増加しております。また、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391,739	713,222
受取手形及び売掛金	1,138,369	1,305,952
完成工事未収入金	486,129	499,535
商品及び製品	1,254,906	1,167,678
仕掛品	220,722	195,608
未成工事支出金	416,596	415,024
原材料及び貯蔵品	374,675	330,683
その他	78,434	41,605
貸倒引当金	7,373	2,372
流動資産合計	4,354,199	4,666,937
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	574,996	511,633
有形固定資産合計	1,654,562	1,591,199
無形固定資産		
無形固定資産	6,410	6,313
投資その他の資産		
その他	201,331	196,683
貸倒引当金	123,226	116,032
投資その他の資産合計	78,105	80,650
固定資産合計	1,739,077	1,678,164
資産合計	6,093,277	6,345,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,205,855	1,310,544
工事未払金	71,275	54,448
短期借入金	834,800	825,000
1年内償還予定の社債	50,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	415,310	360,190
未成工事受入金	166,950	317,852
賞与引当金	93,661	118,246
工事損失引当金	27,900	5,700
その他	289,071	285,576
流動負債合計	3,154,824	3,302,558
固定負債		
長期借入金	557,410	463,290
退職給付引当金	641,348	-
役員退職慰労引当金	90,947	93,221
退職給付に係る負債	-	551,417
資産除去債務	11,126	11,194
その他	265,800	257,923
固定負債合計	1,566,632	1,377,046
負債合計	4,721,457	4,679,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	44,381	362,249
自己株式	1,243	1,254
株主資本合計	1,208,552	1,526,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,636
土地再評価差額金	162,100	162,100
退職給付に係る調整累計額	-	24,649
その他の包括利益累計額合計	163,267	139,087
純資産合計	1,371,820	1,665,497
負債純資産合計	6,093,277	6,345,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,616,686	3,430,866
売上原価	2,084,856	2,546,926
売上総利益	531,830	883,940
販売費及び一般管理費	609,353	593,605
営業利益又は営業損失()	77,523	290,335
営業外収益		
受取利息	485	344
受取配当金	37	98
貸倒引当金戻入額	2,810	12,444
賞与引当金戻入額	350	220
為替差益	-	1,229
その他	5,168	5,734
営業外収益合計	8,851	20,072
営業外費用		
支払利息	29,471	23,482
支払手数料	471	768
為替差損	12,756	-
その他	1,653	1,116
営業外費用合計	44,353	25,367
経常利益又は経常損失()	113,025	285,040
特別利益		
固定資産売却益	-	4,588
特別利益合計	-	4,588
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	113,025	289,628
法人税、住民税及び事業税	7,735	53,839
法人税等調整額	180	189
法人税等合計	7,915	53,649
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	120,941	235,978
少数株主損失()	1,566	-
四半期純利益又は四半期純損失()	119,374	235,978

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	120,941	235,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	470
退職給付に係る調整額	-	2,957
その他の包括利益合計	181	2,487
四半期包括利益	120,759	233,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,193	233,491
少数株主に係る四半期包括利益	1,566	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	113,025	289,628
減価償却費	69,837	69,205
有形及び無形固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,676	12,195
賞与引当金の増減額(は減少)	13,305	24,585
退職給付引当金の増減額(は減少)	59,109	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	32,691
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6,167	2,274
工事損失引当金の増減額(は減少)	-	22,200
受取利息及び受取配当金	523	443
支払利息	29,471	23,482
為替差損益(は益)	10,975	98
有形及び無形固定資産売却損益(は益)	-	4,588
売上債権の増減額(は増加)	76,856	175,426
未成工事受入金の増減額(は減少)	68,581	150,902
前受金の増減額(は減少)	1,509	6,528
たな卸資産の増減額(は増加)	119,606	153,652
仕入債務の増減額(は減少)	104,263	89,127
前渡金の増減額(は増加)	50,904	3,788
未払費用の増減額(は減少)	43,751	47,949
その他	29,961	33,905
小計	145,309	538,429
利息及び配当金の受取額	518	379
利息の支払額	29,927	22,414
役員退職慰労金の支払額	17,334	-
法人税等の支払額	25,728	20,184
法人税等の還付額	-	12,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,781	508,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	600	69,080
定期預金の払戻による収入	-	900
有形及び無形固定資産の取得による支出	87,033	3,692
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	8,665
土地譲渡契約に伴う手付金収入	30,000	-
その他	2,283	220
投資活動によるキャッシュ・フロー	59,916	63,428

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	787,200	257,000
短期借入金の返済による支出	470,810	266,800
長期借入れによる収入	50,000	80,000
長期借入金の返済による支出	250,940	229,240
社債の償還による支出	25,000	25,000
セール・アンド・リースバックによる収入	45,044	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	7,937
その他	-	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	135,494	191,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,975	98
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	153,178	253,302
現金及び現金同等物の期首残高	682,542	369,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	529,363	622,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,478,953	1,137,733	2,616,686		2,616,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,564		6,564	6,564	
計	1,485,517	1,137,733	2,623,251	6,564	2,616,686
セグメント利益又は損失()	140,644	63,111	77,533	10	77,523

- (注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額10千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,182	1,262,683	3,430,866		3,430,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,582		4,582	4,582	
計	2,172,765	1,262,683	3,435,449	4,582	3,430,866
セグメント利益	145,569	143,225	288,794	1,540	290,335

- (注) 1. セグメント利益の調整額1,540千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項
会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。
当該変更により、従来の方針に比べて当第2四半期連結累計期間の「ボーリング機器関連」及び「工事施工関連」のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。